

國學院大學学術情報リポジトリ

創刊の辞

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 阪本, 是丸, Sakamoto, Koremaru メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/2249

創刊の辞

研究開発推進センター長 阪本 是丸

研究開発推進センターが発足し、はや一年が過ぎました。

本センターは、平成18年3月に創設され、4月からは本学大学院出身の若手研究者6人を講師・助手として任用し、さらに、ポスドク研究員や客員研究員を迎えるなど、若手研究者育成の場としての機能を充実させるべく努めて参りました。そうした若手研究者の多くが、これからの時代に向けての本学の研究教育活動の基礎として設置された「21世紀研究教育計画委員会」の嘱託研究員や、その計画の中心となる、大学院文学研究科および日本文化研究所を拠点として平成14年度に採択された文部科学省21世紀COEプログラム「神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成」において研究員を務めてきた者たちであります。

本センターのおもな任務としては、

- ・ 21世紀COEプログラムなど、国などから補助金事業として採択されるような研究計画を策定し、かつ、採択された場合その適正な運用を図る。

- ・ 本学の有する神道学・文学・史学・法学・経済学の研究成果を、直接関係する分野ばかりでなく、広く文化・社会に対して還元させる。そのために各種業界や関係財団との研究提携の仲立ちをし、研究計画を立て、シンクタンのような役割を果たす。

- ・ 上記研究のプロジェクトの円滑な推進のため、外部研究者を客員研究員として受け入れる。

が掲げられ、本年度はCOEプログラムの事務局としてその補助金の適正な運用や、競争的外部資金等の獲得のための申請作業などに従事して参りました。

さらに、こうした補助金関係の仕事と並ぶ、センターの活動のもう一つの大きな柱として、センターでは院友神職会をはじめとする神社界からの多大なご支援を受け、神道・神社に関する独自の研究事業の推進や本学大学院学生をはじめとする若手研究者への研究支援を行っています。

こうした研究事業の一環として、本年度は神社史料研究のプロジェクトとして、賀茂社関係文書の講読を中心とする定例研究会やそれにとりまう京都調査、あるいは靖国問題を中心に現代的問題として関心の高まっている神道と追悼について考える「慰霊と追悼研究会」を発足させ、専門家を招いてのシンポジウムなどを開催いたしました。

しかし、センターの研究事業は緒に就いたばかりで、今後、さらに深化・発展を遂げることが期されるものであり、従って、未だそのご報告をする段階ではありません。

そこで、本創刊号では、センターの若手教員・ポスドク研究員の紹介を兼ねて、その専門分野に関する論考を掲載した次第であります。

ご一読いただくとお分かりになりますように、センターの若手研究者達の専門分野は多種多様であります。時代的には古代から近代までを広く網羅していますが、たとえ同じ時代を専攻していても、視点や扱って立つところをまったく異にする、バラエティーに富んだ人材を取りそろえております。しかしながら、その根幹には、みな、神道を中心とする日本の宗教、ひいては日本文化の何たるかを解明したいという熱意が溢れていることもまたご理解いただける内容となっていることと思います。そしてその熱意こそ、本学の建学の精神である有栖川宮熾仁親王の告諭「凡学問ノ道ハ本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ、故ニ国体ヲ講明シテ以テ立国ノ基礎ヲ鞏クシ」の意味を深く理解し、そのもとに育まれたものであることは言うを俟たないことでありましょう。

これから先、國學院の学風の中で育成された彼ら若手研究者たちが、建学の精神を胸に本学の研究教育の一端を支え、また、学界へ大きく羽ばたいて行ってくれることを願うとともに、センターへの皆様のますますの暖かいご声援・ご協力を心よりお願い申し上げます、創刊の辞に代えさせていただきます。